

教育・研究などへの取組状況（令和7年度）

総合工学システム学 科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
教授	檜崎 亮

項目	取組状況
教 育	<p>◆担当科目 解析1, 解析2, 応用数学B, 確率統計</p> <p>◆担当科目の取組状況 本校Rカリキュラムからの新科目として「応用数学B」では抽象的ベクトル空間の説明のために補充プリントや演習プリントを作成した。 「確率統計」は統計処理ソフトを用いるとともに、学修単位のため毎回の課題として2種類の課題（授業時の理解度を測る, 問題演習を行う）を準備し、学生の学習成果の確認として活用した。</p> <p>◆特記すべき教育方法の実践例 新生対象「基礎学力確認テスト」実施 2年生対象「基礎数学A・B確認テスト」実施 1・2年生の夏季補習授業実施</p>
研 究	<p>◆学術論文執筆</p> <p>◆学術講演会での発表 ・「数学との接続を意識したプログラミング教育実践の一考察」第31回日本高専学会 ・「数学教育におけるAI基礎理論の導入」第31回日本高専学会 ・「大阪公立大高専における数学の公開講座」第107回全国算数・数学教育研究大会</p> <p>◆外部資金獲得状況 ・令和6～9年度科学研究費助成事業 基盤研究(C) 分担</p>
社会貢献	<p>◆公開講座・出前授業の取組状況 公開講座「暗号を作ってみよう」</p>

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育：該当年度の担当科目，担当科目の取組状況（工夫・改善した点）などを記載。

研究：該当年度の研究テーマ，学外発表実績，外部資金獲得状況，共同研究などを記載

社会貢献：該当年度の公開授業，出前授業，学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況（令和6年度）

総合工学システム学 科	系・コース
職階	氏名

項目	取組状況
教 育	<p>◆担当科目 微分積分1, 微分積分2, 応用数学II</p> <p>◆担当科目の取組状況 单元ごとに小テストを実施し, 基礎学力の定着を図るとともに, 下記の通り ICT を活用した数学教育を行った:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Moodle オンラインテストを用いた学力補充指導【微分積分1・2】 ・ 統計処理ソフトを用いた演習【応用数学II】 <p>◆特記すべき教育方法の実践例 新入生対象「基礎学力確認テスト」実施 2年生対象「基礎数学A・B確認テスト」実施 1・2年生の夏季補習授業実施</p>
研 究	<p>◆学術論文執筆</p> <p>◆学術講演会での発表 ・「GeoGebraを用いた演習」第106回全国算数・数学教育研究大会</p> <p>◆外部資金獲得状況 ・令和6～9年度科学研究費助成事業 基盤研究(C) 分担</p>
社会貢献	<p>◆公開講座・出前授業の取組状況 公開講座「暗号を作ってみよう」</p>

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育：該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況（工夫・改善した点）などを記載。

研究：該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献：該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況（令和5年度）

総合工学システム学 科	系・コース
職階	氏名

項目	取組状況
教 育	<p>◆担当科目 基礎数学 A, 基礎数学 B, 基礎数学 C, 特別研究</p> <p>◆担当科目の取組状況 单元ごとに小テストを実施し, 基礎学力の定着を図るとともに, 下記の通り ICT を活用した数学教育を行った:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Moodle オンラインテストを用いた学力補充指導【基礎数学 A・B・C】 ・ 統計処理ソフトを用いた演習【基礎数学 B】 <p>◆特記すべき教育方法の実践例 新入生対象「基礎学力確認テスト」実施 2年生対象「基礎数学 A・B 確認テスト」実施 1・2年生の夏季補習授業実施</p>
研 究	<p>◆学術論文執筆 ・「統計処理ソフトを用いた演習」城西大数学教育紀要 第5巻</p> <p>◆学術講演会での発表 ・「統計処理ソフトを用いた演習」第105回全国算数・数学教育研究大会 ・「数理モデルを構築する能力と AI リテラシーを涵養する教材例」第29回日本高専学会</p> <p>◆外部資金獲得状況 ・令和3~5年度科学研究費助成事業 基盤研究(C) 代表</p>
社会貢献	<p>◆公開講座・出前授業の取組状況 公開講座「暗号を作ってみよう」</p>

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育：該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況（工夫・改善した点）などを記載。

研究：該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献：該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載